

# Catch Ball

2020  
January

1

Vol.879

## CONTENTS

- 新年のご挨拶…1～5
- フォトだより…6
- 営農計画書作成日程…7～8
- 理事会だより…9



11/24 青年部とフレッシュミズ部会が合同で親子レクリエーションを開催しました





# 年頭にあたって

美 唄 市 農 業 協 同 組 合

代表組合長理事

岸

定

あけましておめでとございませぬ。

皆様にはつつがなく新年を迎えられたことと、こころよりお慶び申し上げます。

昨年は全国的に台風災害による甚大な被害をみた年でしたが、ここ美唄においてはその難に見舞われることがなく幸いな年でした。とはいえ、地球温暖化の影響からか天候が極端に振れ、各作物が作りづらくなりつつあることは否めません。なんとか総体としては平年作を確保できたものの、各作物の出来不出来、組合員間の格差が大きく出る傾向にあり、気候変動に対応できる技術の確立、危険分散に向けた経営的工夫の必要性を痛感しているところです。もう手を挙げて喜ぶという訳にはまいりませんでしたが、無事に出来秋の操業を終えられたことに、またこの間皆様からいただいたご協力・ご厚情に心から感謝するものです。

さて、今年の干支は「庚子（かのえね）」の年となります。「庚」はかえる・かわる・あらためる、「子」は増える・始まる、の意味があるそうです。これらが象徴するのは、変化が生まれる状態、新たな生命がぎざし始める状態で、新しいことにチャレンジするのに適した年回りのようです。

くしくも、美唄市農協においても次期農業振興計画および中期経営計画のスタート年となります。かつての3分の1になってしまった正組合員戸数、半分になってしまった取扱販売額、長引く低金利政策による信用事業収益の低下と、農協を取り巻く状況も大きく変化してきました。なにより組合員の生活も都市住民と遜色ないまでに向上し、さらには作付けする作目も多岐にわたるようになってきております。

次代につなげる新たな協同組合の価値創造にむけ、組合員ニーズの多様化に対応できる事業運営の展開を、10年後を睨んだグランドデザインと共に提案したいと、次期計画の策定に注力しているところです。

さて、外に目を向けましても、TPP11、日欧EPA、さらには日米貿易協定の妥結と、グローバル化の流れはいよいよ現実のものとなりつつあります。直撃を受ける乳製品・食肉ほどではないにしても、小麦さらには他の農産物価格等に及ぼす影響は少なくないと思われれます。実際の痛みとして実感されるには若干の時間的猶予があるとは思われますが、不安に怯えるだけではなく備えを急がなければなりません。

「生産の目安」に制度転換された米

についても、各産地の様子見傾向と新潟県の品質低下もあり価格を維持はしていますが、今後の見通しについては予断を許さないところです。

ついては、さらなるコスト低減への取り組みは無論のこと、土地利用型作物といえども今一段の収量レベル向上に向けた技術確立が必要と捉えます。経営面においても東北・北陸各県を見るまでもなく、複合経営によるリスク分散の取り組みは必須と考えるものです。

時代が求める「変化」を好機ととらえ、5年・10年先をにらんだ取り組みこそが求められていると思うところです。

もちろん、時代や環境がどのように変わろうと、「すべては組合員と地域のために」という、農協に課せられた基本的な使命は何ら変わるものではないとあります。なかなか先の読めない時勢ではありますが、臆することなく組合員や地域の皆さんとともに、一歩踏み出す年にしたいと願うものです。

この新しい年がより佳き年になりますよう、心より祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

牡羊座



思うようにならないことが増え、強引になりがち。謙虚さを大切に。陶芸や園芸など、土に触れると開運効果がある。

《モナ・カサンドラ》

1月

今月のあなたの運勢

2020. 1

1



# 新年を迎えて

美 唄 市 農 業 協 同 組 合

専 務 理 事 伊 藤 正 人

新年明けましておめでとうございます。  
令和2年の新年を、皆様ご健健で迎えられたことと拝察しお慶び申し上げます。

日頃より地域農業の振興にご尽力いただき、さらにはJAびばいの事業運営に対して深いご理解とご協力を頂いておりますことに対してあらためて感謝申し上げます。

平成の時代が終わり年号も「令和」となった昨年、前年の収量低迷の記憶を払拭したい思いもあり、新たな時代に期待感を抱きながらのスタートとなりましたが、昨年同様に日本国内は台風15号、19号など自然災害の多い年となりました。

幸いにもJAびばい管内には直接の被害はほとんど有りませんでした。結果として、グリーンアスパラガスやハスカップなど昨年に続き収量が伸びなかった品目もあつた一方、秋まき小麦の「きたほなみ」が平均反収で540kgを超えるなど、概ね平年並の収穫量を確保できましたことは、組合員みなさまの日頃の営農に対するご苦労とご尽力に対し敬意を表します。

日本の農業をとりまく状況は依然として予断を許さない状況にあります。日欧EPA、TPP11の発効に続

いて日米貿易協定交渉もすでに合意に至り、年明け早々に発効となる事も予想され、国内自給率の向上には困難な状況です。果たして政府がどのような対策を施行してゆくのかに注視せざるを得ません。

一方、農協改革については、昨年5月までの期限の後、農協改革集中推進期間における農水省の評価・総括が9月に発表されました。「JAグループの自己改革」を「進展」と評価したうえで、「信用事業の収益低下をどのように他の部門で補填してゆくのかわ」など今後の「農協経営の持続性」に対する課題が提起されております。

准組合員の事業利用規制に係る議論についても引き続き、令和3年3月までに正・准組合員それぞれの利用状況並びに改革実施状況についての調査を行い、検討を加えて結論を得るものとされております。

当JAと致しましては連合会との協調を図りながら組合員の声を国に對して具申しゆく所存です。

当JA管内においては基盤整備も概ね計画の半分を終え、一筆1畝余の水田が連なる風景も珍しくなくなりました。作業効率の高い土地をどのように収益向上に結びつけてゆかが課題となっており農家戸数の減

少と、それに伴う1戸当たりの耕作面積の増加に伴う様々な負担が個々の経営に影を落とす状況が散見されます。

規模の大きな経営においても適切な投資計画の作成など経営のハードルは高まっていると言えます。

他の地域同様に当JA管内においても人口減少、労働力不足、消費の低迷、後継者の育成などさまざまな課題がある訳ですが、我々にはそれらの課題を一つ一つ解決してゆくために「JAが出来る事は何か？」を強く問われている時代と言えらると思っております。

当JAと致しましては、体制の整備、人材育成を通して常に進化を目指し、自らの能力向上に努めるとともに、JAが提供する各種事業をご利用いただいている皆様の多種多様なニーズに適切にお応え出来るように常に視野を広く保つことを心がけ、皆様の信頼にお応え出来るJAを目指します。

最後に、本年が皆様にとってご健勝で豊稔の秋を迎えられます事をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。





# 令和2年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい令和2年の新年を迎えられたものと心より、お慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先に道内各地において強風に見舞われ、広範囲にわたり農業被害が発生し、一部蒔き直しが必要になった地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありましたが、天候は順調に推移したことで収穫も進みました。お米の作況指数が104の「やや良」、小麦、てん菜は平年作以上となる結果となり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込まれ、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることができたと感じております。

しかしながら、全国的には8月末に発生した九州北部豪雨や、9月、10月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風15号、19号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部

地震により多くの支援を頂いた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと考えております。

国際貿易交渉については、昨年2月1日に日EU-EPAが発効となり、日米貿易協定は昨年10月に署名がなされ、国会審議を経て12月4日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では、1,100億円の生産減少のうち3割が北海道への影響とみられており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行っております。今後も動向を注視し、北海道農業が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めまいります。

さて、JAグループ北海道は、昨年11月12日に第29回JA北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題を、JAグループ全体で共有すること、内外に実践状況を発信すること目的として、JA北海道大会実践フォーラムを開催したところです。

引き続き、組合員・JA・連合会・中央会が一体となり、大会決議事項の実践に取り組み、基本目標の達成につ

なげてまいります。

結びになりますが、今年の干支は庚子(かのえね)です。子には、「ふえる・しげる」の意味があり、種子の中に新しい生命がぎざぎざ始める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、農業にとって輝かしい未来が芽生く年となること、併せて北海道農業並びに組合員、役職員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってご挨拶いたします。



獅子座



マイナス思考が現実化しやすい傾向あり。意識的に楽しいことを考えて。新しい習い事を始めると充実しそ

蟹座



対人関係に変化がありそう。今まで敵対視していた相手が味方になる可能性が高め。新作映画やドラマにツキ

# 令和元年を振り返って

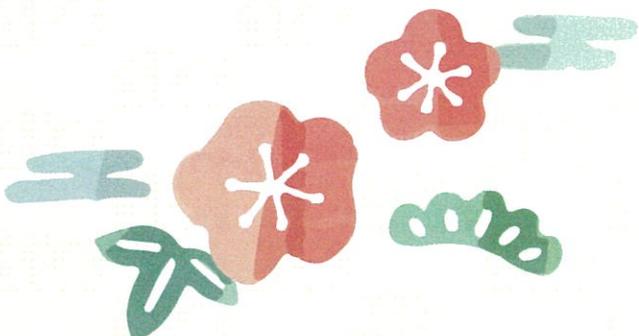


空知農業改良普及センター  
所長 常盤 正由紀

新年明けましておめでとございます。皆様におかれましては、新春をご健勝で迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。また、日頃より農業改良普及センターの活動に、ご理解とご協力をいただいておりますことに対し、心より感謝申し上げます。さて、昨年は3月下旬の頻繁な降雪により融雪が進まず、融雪期は平年並になりました。その後は、好天が続いたため、ほ場の乾燥も進み、耕起作業は平年より3日程度早まり、水稻の移植作業も平年より4～5日程度早く進みました。その他の春作業、作物の生育も順調に進みました。降水量が少なく推移し、4月～7月の降水量は平年を下回りました。所によつては用水の取水制限が行われました。7月下旬～8月上旬にかけては、真夏日を11日記録するなど高温・多照となりました。8月以降は降水量が多くなりました。5月20日の強風、岩見沢市において8月31日に100ミリ/1時間程度の局地的な豪雨があったものの、局所的な被害に留まり、総じて災害の少ない年となりました。

このような中、水稻では $m^2$ 総粒数はほぼ平年並でしたが、登熟期間の高温や遅れ穂の登熟不良により千粒重がやや軽くなりました。北海道農政事務所による南空知の予想収量(10月15日現在)は、10a当たり543 $kg$ 、作況指数104と発表されています。品質は、青未熟粒、部分着色が見られ、製品歩留まりはやや低くなっています。青未熟粒は、早期異常出穂や遅発分げつによる穂揃い不良による登熟のバラツキによるものと推察されます。タンパク値が高くなったのは、生育後期の7月下旬から8月上旬に高温になったことで、土壌アンモニア態窒素の溶出量増加が影響したためと考えられます。また、秋まき小麦をはじめ、大豆やたまねぎ等の作物においては、少雨の影響もありましたが、収量・品質は平年を上回る結果となり、排水対策や土壌改良等基本技術の励行の成果と考えます。

今、空知農業は、「農家戸数の減少」や「中核的な農家の急速な規模拡大」、「高齢化・労働力不足」、「局所的な異常気象」、など、様々な課題を抱えています。空知では水稻地帯の特質を生かし、以前から水稻直播や無代かき栽培と畑作物を組み合わせた空知型輪作が提案され、取り組みも広がっています。また、ICTやロボット技術を活用した先端技術の社会実装も始まっています。普及センターは皆様とともに持続可能な農業の確立に向けて取り組んでいくことが重要と考えており、皆様とともに地域課題に取り組み、迅速な情報提供と有効な技術や地域づくりの提案等を行ってまいります。生産者及び関係機関の皆様には一層のご協力をお願い申し上げます。新しい年が、皆様にとりまして、希望に満ちた幸多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





J A びばい女性部  
部長 谷村 清美

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

日頃より女性部活動に対しまして、組合員の皆様、ご家族、J A びばいの方々のご理解とご協力を頂き、深くお礼申し上げます。

昨年は春より暖かい日が続きましたが、雨不足のため大豆の発芽が遅れたほか、野菜などの不良も見受けられました。気温も寒暖差が激しく、夏は猛暑となり体調が心配されましたが、小麦・玉ねぎは良好で、大豆・米も平年並みで終わることができたかと思えます。

本年度の女性部活動も部員数減少が進む中、現部員の意欲的な活動の取り組みで、J A びばい祭では野菜を販売し「地産地消」の大切さと「安全安心」をPRし、市民との交流を深めました。12月の収穫祭では、新米おぼろづきのおにぎり、お漬物、加工部会の手作り味噌を使った豚汁を試食して頂いたほか、手作りのしめ飾りなども販売し、例年同様市民の皆様より好評を頂きました。さらに、今回は台風19号による甚大な被害を受けた方々へのお見舞いを兼ねて、義援金付のお米を1kg 500円で販売いたしました。沢山の方々にご協力頂きましたことに、心から感謝申し上げます。

三役に関しましては、和歌山県への道外研修での農業視察のほか、現地女性部との意見交換会では今後の女性部の在り方などを話し合い、交流を深めてまいりました。J A 北海道女性リーダー研修・家の光大会では「SDGs」(持続可能な開発目標)などの講演を聴き、資源やごみ問題など多くのことを学び、今後の女性部活動で取り組んでいきたいと思いました。また、全道各地の人と交流を深め、有意義な時間を過ごしました。

最後になりますが、本年もJ A びばい並びに各関係機関の皆様のご協力のもと、女性部一丸となり努力して参りますのでご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

皆様にとりましては、ご健康で希望に満ちた稔り多い1年となりますよう、ご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



J A びばい青年部  
部長 加藤 雅樹

新年明けましておめでとうございます。皆様が輝かしい新春を迎えられましたことを謹んでお慶び申し上げます。

日頃より、青年部活動に対しまして、J A びばい並びに各関係機関の皆様には、深いご理解とご協力をいただいておりますことを心より感謝申し上げます。

昨年は春先の天候も良く幸先の良いスタートとなりましたが、6月上旬から長雨が続き、低温・日照不足により私たちの農作業に大きく影響を与えました。夏には猛暑、ひとたび雨が降れば大雨と天候に悩まされる年となりましたが、収穫物は概ね良好な作だったと思えます。

私たち青年部は令和元年度、更なる団結・発展を目指そうと1年の活動をスタートさせました。2月はスノーメッセージ作成。市内の園児を招待して交通安全啓発活動を行い、見事空知で最優秀賞を獲得しました。7月は部員視察研修と消費者交流会を実施。交流会は美唄特産品のお米の学習会と称し、市内の小学生と保護者、先生方を対象に行い、最後には青年部ピザ窯で焼いた米粉のピザを振る舞いました。さらに今年は盟友らの強い思いから管外研修も実施。北村の普及センター試験圃場や峰延の農家を訪問しました。8月のJ A びばい祭では今年も美唄産野菜にこだわった窯焼きピザを販売し、完売することができました。10月にはくるるの杜で雪蔵工房おぼろづきの対面販売を行いました。11月の空知管内J A 青年部大会では、日頃の青年部活動を対外に示す活動実績発表で北海道大会に進出しました。昨年は1年を通し、青年部が大きく成長できた年だと感じております。こうした各事業・活動の実施と成功は盟友をはじめ、女性部・J A 役職員、各関係機関の皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。今後も仲間と共に切磋琢磨しながらよりよい組織作りを目指し活動して参ります。

最後になりますが、本年もJ A びばい並びに各関係機関の皆様に一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方と青年部盟友のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

射手座



得意なことや好きなジャンルに情熱を注ぐと、それが活躍の場を引き寄せます。ずっと欲しかった物を買えそう

蠍座



フットワークが軽くなる期間。興味を引かれるジャンルを見つけたら、早速試してみてください。グループレジャー吉



美唄稲作振興会(桑折尚宏会長)が関西方面で2泊3日の道外研修を実施し、会員14名が参加した。滋賀県のヤンマーミュージアムや大阪府の幸福米穀株式会社などを訪問した。(11/6～8)



美唄市農村機械化センター連合会(畑雄二会長)が十勝方面で1泊2日の役員研修を実施し、各組織から15名が参加した。主に農機関連の会社を訪問し、視察した。(11/6～7)



女性部園芸部会がJ A3 階大会議室でフラワーアレンジメント講座を開催し、同部会員17名が参加した。今年で3年目となる同講座は慣れた手つきの参加者も多く「花がきれい」とみんな癒された様子だった。(11/18)



J Aびばいは「令和元年度子どもの食生活改善に資する早寝早起き朝ごはんの活動」に協力いただいた札幌市の株式会社上野商店 代表取締役 田川良光氏と美唄市の植松商店 代表 植松真樹氏に、その功績を讃える感謝状を贈った。  
この活動は4月から10月までの月1回、美唄市立美唄中学校の生徒とその家族を対象に、女性部シルバー部会の部会員が美唄産の食材を使った朝食を提供するもので、上野商店と植松商店がこの活動に賛同。新鮮な野菜や果物を無償で提供されていた。(11/20)



女性部が札幌方面で役員研修を実施し、役員6名が参加した。江別市のヤンマーアグリソリューションセンターで傾斜角体験などをしたほか、白老町のスキンケアメーカーが運営するナチュの森などを見学した。(11/25～26)



令和2年度

【企画相談課からのお知らせ】

# 営農計画書の作成・審査について

令和2年度の営農計画書の作成及び審査を左ページの日程にて行います。

日程をご確認の上、遅滞なくお越し頂き計画書の作成・審査を行って頂くよう宜しくお願いします。  
なお、ご都合が合わない場合には事前に企画相談課へご連絡下さいますようお願いいたします。

●会場/本所2階 企画相談課

●ご用意いただくもの

①クミカン取引専用印

②印紙代200円

\*クミカン取引は当座貸越契約のため必要です。

\*貯金担保にてクミカン運用をされている方は、担保されている貯金の「お届け印」をお持ち下さい。

③郵送された営農計画書作成・審査に係る資料一式

●その他

- ・作成審査には、時間がかかる場合がございます。ご理解ご協力をお願い致します。
- ・企画相談課にてパソコン作成致します。事前入力を行う方は「記録媒体 USB」等をお持ち下さい。
- ・家計費以外の現金供給は基本的に認められません。計画書作成にあたっては、振込での対応をお願い致します。



## 忘れずに！

令和2年度に農地・農機具等の購入、施設の建設などを予定されている方は、営農計画作成時に必ずご相談下さい。

急な申し入れには「資金借入」が出来ない場合もございます。早めのご相談をお願い致します。

◇お問い合わせは、企画相談課 TEL(0126) 63-2165 (直通) まで

に盛り上がった。  
この日ははしゃぐ子どもたちと一緒に大人も体を動かし、会場は大いに盛り上がった。

レクは部員減少に悩むフレミズ部会が企画。まだ入会していない青年部員の奥さまにも声をかけ、子どもと一緒に楽しめるゲームで交流を深めることでフレミズ活動を知ってもらおうと青年部に協力を求めた。

青年部とフレッシュユミズ部会は11月24日、美幌市総合体育館で親子レクリエーションを開催し、11組43名が参加した。

親子で楽しく  
いっぱい遊ぼう



ケガもなく子どもも大人も楽しんだ

モナ・カサンドラ【プロフィール】 占いを学術的に解析する「ルネ・ヴァン・ダール研究所」の研究生となり、占星学のロジックを徹底的に解説・探求。コンピュータによるホロスコープ作成の道を開いた。現在は執筆活動を始め、さらなる占星の研究を重ねている。  
ルネ・ヴァン・ダール研究所 <http://www.rene-v.com/>



魚座  
尊敬する人の行動を参考に仕事のやり方を変えるなど、自己改革に取り組んで。同世代有名人の出演番組にツキ

2020. 1

7

## 令和2年度 営農計画書作成・審査日程

月日	時間	農事組合名	コード	月日	時間	農事組合名	コード					
2月3日 (月)	9:00~10:00	進徳1A、進徳2	110、308	2月17日 (月)	9:00~10:00	山形1	7301~7402					
		進徳3、進徳西	407~602		10:00~11:00		7407、7601、9802、9808					
	10:00~11:00	進徳東1			13:00~14:00	山形2	7508~7608					
		共練中央、共練東	2009~2116		14:00~15:00	山形2	7610~7615					
	13:00~14:00	東明1、東明2	2307~2417	2月18日 (火)	9:00~10:00	茶1兵村	7714~7805、9846、9878					
	14:00~15:00	東明東7条			10:00~11:00	茶1中央(個人含)	8114~8411					
旧有為			13:00~14:00		茶2南1、茶2南2	8501、8509、8518						
			14:00~15:00		茶2新行	8615~8631						
2月4日 (火)	9:00~10:00	一心(個人含)	1108~1212	2月19日 (水)	9:00~10:00	茶2東、茶2東6線	8704、8805、8901					
	10:00~11:00		1213~1317		10:00~11:00	茶2個人	8515、8601					
	13:00~14:00		1401~1425			茶3新成	9301~9309					
	14:00~15:00	癸巳南	3101~3202		13:00~14:00	茶3新成	9203~9209					
2月5日 (水)	9:00~10:00	癸巳中央	3325~3347	14:00~15:00	茶3榎本	9506~9525	2月20日 (木)	9:00~10:00	茶3榎本	9544~9522、9890		
	10:00~11:00	癸巳北	3401~3412	10:00~11:00	茶協昭和(個人含)	8204~8210		2月21日 (金)	9:00~10:00	北美唄光栄	4011~4610	
	13:00~14:00		3416~3503	13:00~14:00		4652~4659						
	14:00~15:00	沼の内	3603~3801	14:00~15:00	北美唄平成	4663、4664、9865						
2月6日 (木)	9:00~10:00	沼の内	3824~4103	2月25日 (火)	9:00~10:00	北美唄平成	9608~9712、9819、9867	2月26日 (水)	9:00~10:00	中村菱沼	9803、9927~9932	
	10:00~11:00		4108~4206		10:00~11:00	中村南	9815、9901~9906		2月27日 (木)	9:00~10:00	団体	9805~9827
	13:00~14:00		4213~4411		13:00~14:00		9830~9838					
	14:00~15:00		4414~4429、9897		14:00~15:00	中村菱沼	9874~9892					
2月7日 (金)	9:00~10:00	開発	4509~4517	2月28日 (金)	9:00~11:00	予備	3月2日 (月)	9:00~11:00	予備			
	10:00~11:00		4523~4819		13:00~15:00							
	13:00~14:00		4822~4917		2月29日 (土)	9:00~10:00		上美唄開拓東栄	5706~5822			
	14:00~15:00		4920~4938									
2月10日 (月)	9:00~10:00	開発	4939、4940、9877、9995	2月12日 (水)	9:00~10:00	上美唄開拓東栄	5823、5919、9888、9898					
	10:00~11:00	上美唄開拓拓辰	5010~5020		10:00~11:00	上美唄	5101~5302					
	13:00~14:00		6001~6112		13:00~14:00		5305~5409					
	14:00~15:00	上美唄開拓東栄	5706~5822		14:00~15:00		5412~5504					
2月12日 (水)	9:00~10:00	上美唄開拓東栄	5823、5919、9888、9898	2月13日 (木)	9:00~10:00	上美唄	5604~5709					
	10:00~11:00	上美唄	5101~5302		10:00~11:00		5713~5910					
	13:00~14:00		5305~5409		13:00~14:00		9806、9828、9849、9882					
	14:00~15:00		5412~5504		14:00~15:00	元村1	6204~6706					
2月13日 (木)	9:00~10:00	上美唄	5604~5709	2月14日 (金)	9:00~10:00	元村1	6709~6804、9848、9991					
	10:00~11:00		5713~5910		10:00~11:00	元村美富	6902~7009					
	13:00~14:00		9806、9828、9849、9882		13:00~14:00		7011、7016、9807、9881					
	14:00~15:00	元村1	6204~6706		14:00~15:00	山形1	7105~7209					

## JA北海道 中央会

JAグループ北海道は11月14日に東京都にて、「経営所得安定対策の単価改定」と「総合的なT P P等関連政策大綱の見直し」に向け、道内与党国会議員や農林幹部に対する中央要請、並びに農林水産省と意見交換を実施しました。経営所得安定対策では3年に一度の単価改定の見直し議論が行われていることから、輪作バランスや畑作経営に対する影響を考慮し、単価が大きく変動しない単価設定とすることや、各作物の生産振興対策などを求めました。T P P等関連政策大綱の改訂にあたっては、相次ぐ大型貿易協定の発行による、中長期的な北海道農業に与える影響が大きいため、各作物別の需給調整・価格安定対策の充実強化、生産基盤の強化に向けた対策を求めました。今後も、北海道の農家、組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。



## ホクレン

ホクレンと北海道米販売拡大委員会は10月17日、北海道産の2019年新米発表会を東京都内で開きました。発表会には鈴木直道・北海道知事とCMキャラクターを務めるタレントのマツコ・デラックスさんらが出席しました。ホクレン内田和幸会長より「今年は、ご満足いただけるおいしい北海道米をお届けできます」とアピールし、マツコさんは「実は一番好きなのがこの『ふっくりんこ』」と楽しいトークで盛り上がりました。



## JA北海道信連

収穫体験や調理体験等の独自イベント、「旬食カレッジ」は今年で4年目となり、今回は一般の女性の方々を対象に、8月、江別市で開催しました。また、全道各JAの協力を受け、今年度から新たに「親子で学ぼう! あぐりキッチン教室」を、全道各地で延べ25回開催しました。これらの食農教育活動を通じて、食や農に対する関心を高め、JA・JAバンクのサポーターを育てる取り組みを行っています。



## JA北海道厚生連

10月23日(水)ホテルポールスター札幌において、令和元年度北海道福祉のまちづくり賞の表彰式が行われ、JA北海道厚生連特別養護老人ホーム摩周が公共的施設部門の「北海道福祉まちづくり賞」を受賞しました。この賞は福祉的配慮に優れた公共的施設等におくられるもので、福祉・建築・市民活動等の有識者で構成する会にて審査が行われ表彰が行われました。この賞を機に施設としての充実だけでなく、入居者の皆さんの生活の充実に向けて更なる向上を目指したいと思います。



## JA共済連北海道

JA共済連北海道は、「2019年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を10月26日(土)にANAクラウンプラザホテル札幌にて開催しました。46回目を迎える同コンクールは、全道より3,296点の応募をいただき、その中から金賞9作品が選出され受賞されたみなさんが表彰されました。今回受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されております。



## 理事会だより

### 定例理事会

11月21日

#### 《報告》

- ① 令和元年10月末現在、業務財務報告
- ② 常務委員会報告
- ③ コンプライアンス委員会報告
- ④ 農家経済改善対策委員会報告
- ⑤ JAびばい農場活用推進委員会報告
- ⑥ 令和元年度第3・四半期末組合員加入脱退報告
- ⑦ 令和元年度第3・四半期末余裕金運用報告
- ⑧ 令和元年度第3・四半期末総合ポイント制度実績報告
- ⑨ 令和元年度第3・四半期末固定資産取得状況報告
- ⑩ 令和元年度決算推定報告
- ⑪ 相談・苦情等対応状況について
- ⑫ その他

#### 《議案》

- ① 令和元年度第3・四半期末監査の結果について
- ② 理事に対する資金の貸付について
- ③ 大口貸出先且つ理事並びに特定組合員を含む団体に対する資金の貸付について
- ④ 特定組合員に対する資金の貸付について
- ⑤ 第11次JAびばい農業振興計画の基本構成について

- ⑥ 小麦調製貯蔵施設導入に向けた今後の取り進めについて
- ⑦ 畑作物の直接支払交付金に係る数量対応方策について
- ⑧ 販売業務規程の一部改定について
- ⑨ 令和元年度なたねの精算について
- ⑩ 令和元年度甜菜の概算金支払いについて
- ⑪ 令和元年度グリーンアスパラの最終精算について
- ⑫ 理事を含む団体に対する資金の貸付について
- ⑬ その他

#### 《その他報告事項》

- ① 令和元年度産米・大豆集荷報告
- ② 生産施設操業状況報告
- ③ 経済事業業況報告
- ④ その他

…全議案承認



## ▶▶▶ 農業経営基盤強化準備金の申請手続きについて ◀◀◀

令和元年度、準備金を積立する方又は農用地等の取得に充てる方は、農林水産大臣に証明書発行を申請しなければなりません。下記の日程で申請手続きを行いますのでご案内致します。

### 【持参いただくもの】

- 農協専用印鑑(法人の方は法人印)
- 取り崩しの場合・・・
- ①農用地
  - ・農用地利用集積計画書(両者の押印がある書類)
  - ・振込依頼書又は領収書(金額・日付がわかるもの)
- ②機械等
  - ・販売証明書(各販売店で発行)
- ③農具庫・農舎
  - ・請求書
  - ・振込依頼書又は領収書(金額・日付がわかるもの)
  - ・農振法の農業用施設用地に所在する証明書(美唄市経済部農政課)
  - ・建物が存在する証明書(美唄市市民部税務課)
- 申告が税理士等の方(農民協の方不要)
- 平成30年度分 必要経費参入に関する明細書(準備金翌年繰越額の確認書類です)
- 尚、平成30年度積立がない方は直近の同様明細書

### ～受付日程表～

月 日	区分	対象地区
1月15日(水)	午前	進徳、一心、共練、東明
	午後	癸巳、沼の内、開発
1月16日(木)	午前	上美唄開拓、上美唄
	午後	元村、山形
1月17日(金)	午前	茶志内(全域)、北美唄
	午後	中村

【場 所】 本所2階 企画相談課  
 【時 間】 午前9時～午後5時まで  
 【担 当】 森  
 【連絡先】 企画相談課 63-2165

※受付は1名で対応となりますので、お待ちいただく場合がありますので、ご理解下さい。  
 ※指定日に都合の悪い方は、1月27日(月)以降に来協をお願いいたします。

## こよみ・行事

### 1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 1日 ○元日
- 2日 ○Aコープ・給油所  
仕事始め
- 6日 ○仕事始め
- 13日 ○成人の日
- 15日 ○企画会議
- 17日 ○定例理事会
- 24日 ○臨時理事会
- 29日 ○期中3監査～30日迄
- 31日 ○期末1監査  
○決算棚卸

## 農協職員資格認定試験合格者

初級 山尾 公一 (農業資材課 給油所)  
 伊藤 隆純 (農業資材課 給油所)  
 佐藤 悠子 (農業資材課 給油所)



おめでとう！  
 これからも頑張ってくださいね！



最新の  
 営農技術から  
 農畜産物の  
 市場見通まで…

購読のお申し込みはJAへ  
 定価1か月2,520円

最新情報をリードする  
 THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS  
**日本農業新聞**  
<http://www.agrinews.co.jp>



新年あけましておめでとうございます



美 市 農 業 協 同 組 合

代表理事組合長 岸 定  
 専務理事 伊 藤 正  
 常務理事 岡 浩  
 常務委員 猪 俣 康  
 常務副委員長 田 中 徳  
 理事 加 藤 隆  
 理事 水 上 和  
 理事 福 井 匡  
 理事 土 屋 雅  
 理事 海 鉾 則  
 理事 林 泰  
 代表監事 伊 藤 寛  
 常勤監事 横 井 由  
 監事 羽 田 勝



監査室 室 佐 々 木 昇  
 管理部長 坂 内 文 仁  
 管理部長 浅 田 昭 二  
 管理部長 江 畑 真 一  
 融資審査課長 融 資 審 査 課 長 江 畑 真 一  
 信用部長 信 用 部 長 井 原 敦  
 金融課長 金 融 課 長 川 井 井 原 敦  
 共済推進課長 共 済 推 進 課 長 佐 藤 仁 志  
 農業振興部 農 業 振 興 部 長 西 川 賢  
 企画相談課長 企 画 相 談 課 長 宮 田 光 賢  
 土地改良課長 土 地 改 良 課 長 林 義 恭  
 営業販売部 営 業 販 売 部 長 原 田 晴  
 営業販売部次長 営 業 販 売 部 次 長 辻 脇 良 幸  
 営業販売部次長 営 業 販 売 部 次 長 新 北 政 一  
 米麦課長 米 麦 課 長 大 場 順 一  
 農産園芸課長 農 産 園 芸 課 長 北 藤 吉 浩  
 農業資材課長 農 業 資 材 課 長 新 谷 光 昭

外 職 員 一 同

美 市 農 協 事 業 推 進 委 員 会  
 会 長 白 木 昭 志  
 美 市 農 協 役 員 報 酬 審 議 委 員 会  
 委 員 長 山 口 勝 利  
 J A び ば い 青 年 部  
 部 長 加 藤 雅 樹  
 J A び ば い 女 性 部  
 部 長 谷 村 清 美  
 美 市 米 麦 セ ン タ ー 協 議 会  
 会 長 桜 井 龍 雄  
 美 市 麦 作 営 農 組 合  
 組 員 長 水 上 和 彦  
 株 式 公 司 開 発 有 限 公 司  
 代 表 取 締 役 林 孝 友  
 ア グ リ 山 形 合 同 会 社  
 代 表 社 員 桜 井 龍 雄  
 西 美 市 米 麦 営 農 組 合  
 組 員 長 畑 井 雄 二  
 一 心 米 麦 営 農 組 合  
 組 員 長 井 上 英 明  
 元 村 米 麦 営 農 組 合  
 組 員 長 太 田 政 徳  
 上 美 市 米 麦 営 農 組 合  
 組 員 長 高 橋 豊 明  
 沼 内 営 農 組 合  
 組 員 長 藤 原 国 夫  
 中 村 共 同 施 設 利 用 組 合  
 組 員 長 浅 井 孝 司  
 美 市 農 協 蔬 菜 部 会  
 会 長 矢 野 義 夫  
 美 市 農 協 玉 葱 部 会  
 会 長 要 野 之 夫  
 美 市 市 農 協 グ リ ー ン ア ス パ ラ 生 産 組 合  
 組 員 長 西 川 芳 勝  
 美 市 市 農 協 ハ ス カ ッ プ 生 産 組 合  
 組 員 長 猪 俣 康 資  
 美 市 市 農 協 こ 生 産 出 荷 対 策 協 議 会  
 会 長 笹 原 俊 明

美 市 農 協 花 き 生 産 組 合  
 組 員 長 土 屋 信 博  
 美 市 農 協 四 季 成 り い ち ち 生 産 組 合  
 組 員 長 鈴 木 英 昭  
 美 市 農 協 振 興 会  
 会 長 桑 折 尚 宏  
 J A び ば い 「ゆめぴりか」 生 産 部 会  
 会 長 今 田 邦 彦  
 美 市 水 稻 直 播 研 究 会  
 会 長 田 中 政 幸  
 美 市 農 業 情 報 シ ス テ ム 研 究 会  
 会 長 太 田 秀 樹  
 美 市 農 村 機 械 化 セ ン タ ー 連 合 会  
 会 長 畑 井 雄 二  
 美 市 無 人 ヘ リ コ プ タ ー 協 議 会  
 会 長 澁 谷 克 幸  
 美 市 先 進 農 機 研 究 会  
 会 長 長 谷 川 彰 徳  
 美 市 地 区 国 営 農 地 再 編 整 備 事 業 促 進 期 成 会  
 会 長 伊 藤 健 蔵  
 上 美 市 地 区 国 営 農 地 再 編 整 備 事 業 促 進 期 成 会  
 会 長 金 子 義 彦  
 西 美 市 地 区 国 営 農 地 再 編 整 備 事 業 促 進 期 成 会  
 会 長 伊 藤 健 蔵  
 美 市 茶 志 内 地 区  
 国 営 農 地 再 編 整 備 事 業 促 進 期 成 会  
 会 長 小 西 政 和  
 北 美 市 地 区 土 地 改 良 事 業 推 進 期 成 会  
 会 長 田 村 敏 数  
 進 徳 一 心 地 区 土 地 改 良 事 業 推 進 期 成 会  
 会 長 土 屋 雅 博  
 A コ ー プ び ば い 生 産 者 直 売 部 会  
 会 長 関 聖 子  
 美 市 市 農 協 生 活 改 善 運 動 推 進 協 議 会  
 会 長 伊 藤 正 人  
 ( 順 不 同 )

令 和 2 年 元 日

# J A の 概 況

## < 11月末 >

○皆さんの貯金	24, 789, 235千円
○皆さんへの貸出金	5, 642, 378千円
○皆さんの出資金	713, 960千円
○組合員数	(正) 801人 (准) 3, 721人 (計) 4, 522人

## 美唄市農協 生活改善運動推進協議会

この協議会は、組合員が自らの創意と良識により物心両面にわたって日常生活を文化的、合理的に高めることを目指し、健康で住み良い地域の確立に資するための生活改善運動推進を行うことを目的としています。



## 編 集 後 記

あけましておめでとございます！  
今年はず(ねずみ)年、十二支で一番最初の年です。ではなぜ一番最初なのか…こんな話を知っていますか？

昔々、神様が動物たちに「元日の朝、私の家にきなさい。最初に着いたものから12番目のものまでを、1年交代でその年の大将にしよう」といい、動物たちははりきります。しかし話を聞き漏らしたネコはネズミに聞きました。ネズミはわざと1日遅れの日付を教え、ネコも真に受けて帰ります。

元日になり、足の遅いウシが誰よりも早く夜明け前に出発します。これを見ていたネズミがウシの背に乗りました。何も知らないウシが神様の家に着くと、そこには誰もおらず門も閉まったまま。自分が1番だと喜んだウシは門が開くのを待ちます。朝が来て門が開いたその時、ウシの背からネズミが飛び降りそのまま1番に…。1日遅れで出発したネコはもちろん番外になり、以来ネズミを追いまわすようになりました。

諸説ありますがこの話が由来のようです。実の子年の人は賢く、頭の回転が早いと言われています。



# 2020 新春初売り

新年あけましておめでとうございます。

Aコープ コア店

ポイント

1月2・3日

8倍

2日 **あさ** 9時30分開店 3日 **あさ** 10時00分開

※閉店時間は、午後5時

※閉店時間は、午後6時

コア店は7日より通常営業(午前10時開店～午後7時閉店)となります。